



**SMART  
SURVIVAL  
PROJECT**

# スマートサプライ

必要な人に必要な支援を  
必要な分だけ届けるシステム



スマートサプライのウェブサイト

「スマートサプライ」とは、東日本大震災の際に、3000か所以上の避難所・仮設住宅・個人避難宅エリアを世界中から継続的にサポートすることを可能とした、ふんばろう東日本支援プロジェクトの物資支援方法をバージョンアップさせた仕組みです。

現地で必要物資の聞き取りを行い、それをインターネット上のサイトに細かく掲載することで、遠方からでも、必要な人に必要な物を必要な分だけ届けることができます。必要な物や相手が明らかになため、特定の物資・サービスが過剰に集まることはなく、確実に役立っているという実感と手応えのある支援が可能となります。

支援の方法には裏面の4つのタイプがあります。

## ユーザーの声

「1クリックで被災地の方とつながり、少しでも役に立つことができ、私もうれいす」

\*支援者\*  
40代女性

支援状況が「すぐに」「自動で」「わかりやすく」表示されるので便利です。そのおかげで、現地のフォローや支援後の報告に、より力を注げるようになりました。

\*支援団体\*  
ふんばろう福島プロジェクト

「いろいろ支援をしてくれる世界の団体があるのは知っているが、こーやって『誰が』『何を』届けてくれるのかわかるのはうれしい」

\*支援された方\*  
タリカ村村長

## スマート サプライ 活用実績

2015年5月以降、熊本地震、関東・東北豪雨災害、ネパール大震災等の際に、110プロジェクトで約44,000点の支援を実現。熊本地震では企業や自治体とも連携し、物資支援のマッチングが行われました（2016年10月15日現在）

通常のクラウドファンディングなどでは、ファンディングされた資金の15%程度がサイト運営側に支払われる仕組みになっていますが、スマートサプライでは全額そのまま現地の支援に使われます。

【2016年3月、スマートサプライが「第2回グッド減災賞」の最優秀グッド減災賞を受賞しました!】



スマートサプライで支援するには

■WEBサイト <http://smart-supply.org>

スマートサプライについてのお問合せは

■Eメール [smartsupply@sspj.jp](mailto:smartsupply@sspj.jp)

# スマートサプライ 支援方法と実績

## 1 直送

(ダイレクトサプライ)

支援者が必要物資を入手し、自分で直接発送する方法です。自宅にある物や近所等で集めた物を送れるため、時間やネットワークがある方にぴったりの方法です。

## 2 Amazon

(アマゾンサプライ)

オンライン通販サイトAmazonの「ほしい物リスト」というシステムを活用して物資支援を行う方法です。お勤めなどでまとまった時間の取れない方が、インターネットを通じて簡単に支援を行うことができます。

## 3 現地購入

(ローカルサプライ)

支援団体が直接購入・提供する物資やサービスにかかる資金を、支援者がクレジットカード決済で支援する方法です。物資は現地のお店で購入するため、現地の経済も循環させることができます。

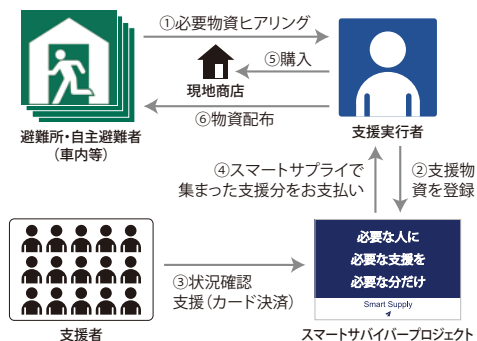
## 4 活動実費

(スマートファンド)

支援団体がまず自分で物資の購入・支払いを行い、その領収書に基づいて支援を募る方法です。支援団体が既に行った支援活動の費用をサポートします。

### スマートサプライ支援方法

### 3 現地購入 (ローカルサプライ)



熊本コラボ・スクールで、熊本地震で被災した子ども達に安心して勉強できる場所と時間を提供 (NPOカタリバ)



ネパール・ティストゥン村にトタン板を届けた登山家・栗城史多氏 (右/ふんばろうネパール)



南相馬市の仮設住宅での夏祭りをお手伝い (ふんばろう福島プロジェクト)

## ピースタイムプロジェクト

災害時の緊急支援に限らず、平時(ピースタイム)から、意義あるプロジェクトも応援しています。「For Girl's Happiness」プロジェクトでは、ネパールで人身売買の被害からレスキューされた60名の女の子に3つのシェルターを設立。「小さな命の意味を考える」プロジェクトでは、東日本大震災時に大川小学校で失われたたくさんの命の意味を伝える冊子を作成しています。



スマートサイバークプロジェクト 〒169-8050 東京都新宿区戸塚町1-104 早稲田大学商学学術院11号館

TEL: 050-3825-2165 ssp.jp www.facebook.com/smart.survival.jp

代表理事: 西條 剛央 (ふんばろう東日本支援プロジェクト元代表、早稲田大学大学院 (MBA) 客員准教授)

〈パートナー企業: 株式会社スタートトゥデイ 株式会社トヨタレンタリース栃木 栃木トヨタ自動車株式会社 石坂産業株式会社〉

※SSPJの活動はパートナー企業様のご協力によって運営しております。